

ありまふじ里山だより

Vol.41

『ありまふじ里山だより』では、棚田里山エリアの自然の様子や里山保全に向けた取り組みについてご紹介します。Vol.41はウド小屋づくりの様子と里守の会の活動の様子についてお届けします。



ウド小屋がお目見え

春の訪れを告げる三田の特産である「三田うど」。現在ではビニールハウスで育てられることが多い中、伝統的な茅葺きのウド小屋づくりに挑戦しようと、今でも伝統的なウド小屋で生産を続けている地元の農家さんに指導を仰ぎ、学生や公園スタッフが協力して小屋を建てました。

木や竹を組み、そこに公園内の茅場で育てた茅や稲わらを葺いて完成。隣の畑では春から育ててきたウドの根っこを掘り起こしました。次回は根っこを植え付ける伏せ込み作業。どんなウドが育つのか今から楽しみです。



里守の会、活動日！

この日は畑の手入れということで、棚田の法面のササ刈りや畑の養生をおこないました。サツマイモを収穫したあとの畝に堆肥と米ぬかをすき込み、刈り草をたっぷりとかぶせて作業完了。来年の夏野菜を植え付けるまでの間、ゆっくりと養生します。

葉物野菜は虫食いなどもあり出来がまだまだですが、この日もジャガイモやネギ、レタスなどを収穫。

春に開墾から始まり、畑として使い始めて半年。少しずつ畑らしくなってきました。